

### <教案の作り方>

教師が教室で行う活動を、あらかじめ計画を立てて文字化したものを教案という。

教案はより具体的なものであり、教案がない授業はありえない。

普通、授業に臨む時に教師は教案内容を頭に入れておき、教案を見ながら授業をすることはない。

日時

クラス

テキスト

学習目標 この時間の勉強が定着すれば、何ができるようになるか  
「Can Do」を目標設定にする

#### 1. ウォーミングアップ or 復習

ウォーミングアップの目的は、学習者をリラックスさせてから授業をスタートさせること。軽い話題で、答えられそうな質問をする。

その時間の導入に関係がある内容を、すでに習った言葉で提供しても良い。

また、復習は、前回の授業の復習が必要な時であれば、

その時間の授業に関係がある既習項目を復習する場合もある。

#### 2. 導入

この時間行われる学習項目の意味、文法的形式、発音、表現意図などを現実的なコミュニケーション場面の中で提出する。

いつ、どこで、誰が、誰に対して、何を、どんな調子で、発話すると、会話はどのように展開していくかを談話例を使って見せる。

文型シラバスのテキストの場合は、ターゲットになる文型のキーセンテンスを提示する。その文型の意味と用法（機能や使い方）が理解で

きたら、学習者は2回ほどリピートするのが良い。  
キーセンテンスは文字化して記録に残すのが良い。  
視覚的な教材を用意し、音声だけに頼らないようにする。  
レアリア 絵カードなどを使用する

### 3. 練習

口慣らしの練習

出来るだけ学習者の発話量を上げるように工夫する  
練習に取り上げる例文は、すべて現実的に使用頻度が高く  
自然なものにする。

フラッシュカード

絵カード

タスクシート

### 4. 展開練習

言わされているのではなく、自分で必要なものを取り出す練習  
現実的なコミュニケーションに最も近い練習

ペアワーク用タスクシート

ロールカード

## <役に立つ教材教具>

### [文型導入]

- ・「絵で導入・絵で練習」凡人社
- ・「みんなの日本語 導入・練習イラスト集」
- ・日本語教師必携すぐに使える「レアリア・生教材」コレクション CD-ROM

### [文法説明]

- ・「初級を教える人のための日本語文法ハンドブック」
- ・「初級日本語文法と教え方のポイント」

### [口頭練習]

- ・「絵で導入・絵で練習」凡人社
- ・「みんなの日本語 導入・練習イラスト集」
- ・「おたすけタスク初級日本語クラスのための文型別タスク集」
- ・「楽しく教える活動集2 子ブタの日本語お道具箱」
- ・「学ぼう初級 フラッシュカード」

### [談話練習]

- ・「みんなの日本語初級 I II 練習 C・会話イラストシート」

### [絵カード]

- ・日本語教師の応援サイト Part 4 (Web)
- ・「できる日本語イラストデータ」CD-ROM
- ・「げんきな絵カード イラストデータ集」CD-ROM
- ・「日本語の教え方スーパーキット 1. 2. 3. 改訂版」  
(1. 改訂版 ビギナー初級用 2 初級後半用 3 年少者用)
- ・みんなの教材サイト (Web)
- ・「みんなの日本語 I II」CD-ROM
- ・いらすとや (Web)

- ・ 日本語教育のためのイラスト教材 (Web)
- ・ 日本語教師の応援サイト P a r t 4 (Web)

[その他]

- ・ 日本語教材図書館 (Web)
- ・ リーディング忠太 (Web)
- ・ J - L E X 日本語テキスト語彙・漢字分析器 (Web)
- ・ やさしい日本語チェッカー  $\alpha$  (Web)
- ・ 漢字の正しい書き順 (Web)
- ・ 「ひらひらひらがなめがね」 (Web)